

第17回トライアスロンさぎしま大会

双鷺洲

鷺浦コミュニティセンターだよ

今年も鉄人達がやってきた。

第17回大会が参加選手、256名+16チーム計304名の鉄人により熱闘が展開されました。

本大会の特徴は新人が多く特に今年90名に達しました。

今回は、長年多くの記録員の努力で行われてきました計画をコンビューターによるチップで行いました。これは、選手・関係者の強い要望と記録員の確保という困難さがあつたからです。85万の経費を要し、予算がかなり圧迫されました。けれども、協賛会社90社、大会役員417名、老人クラブ等各団体、その他島民一人ひとりの協力によって大会はたいへん盛会でした。感謝 感謝。

◎ 鷺浦選手大健闘！河原選手2位、鷺浦チーム2位。

毎夕、仕事終了後バイク・ランの練習を見かけていた、地元の方々は見事に準備をとげました。

35才52位 河原信二(佐木)

チーム2位 スイム 御畑行雄(佐木)

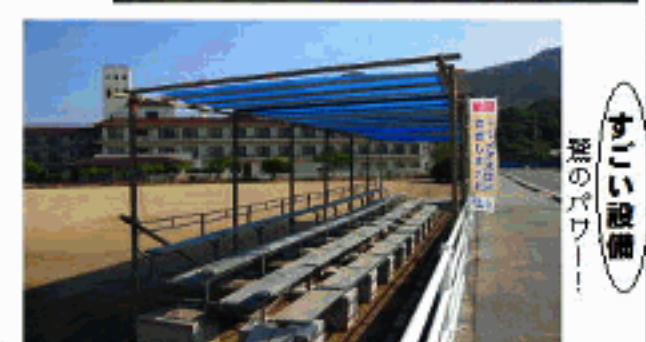
バイク 御畑浩二(佐木)

ラン 引地教樹

総合優勝

男子 1位 福元哲郎(三原)

女子 1位 二分陽子(福山)



人間もやるもんだ！

すごい設備
道のバスロータリー

三十回を区切りにするのか！

十七回大会を終え、準備の期間中聞えてきたのが、「20回までじゃけー」の声であった。いすれになるにしろ、残る2年の内に町民の総意をまとめる必要があります。

存続、見直し、中止か。各区で、各会合で大いに論議することがもめられます。

見直し理由
・役員が固定・高年齢化している。
・第一回から続けている人もいる
あとに続く人材が育たない。

・町民にマンネリ化が生じている。

続ける理由
・島の活性化・コミュニケーションにたいへん貢献している。

・ここままできた地域の力を維持、向上させたい。

俳句
草いきれ 獣の戻や 道祖神
鉄人を 歓迎に咲く 百日紅
山本 巧

墓石も 熱くお供 酒も上樹
夕暮れに 新笠提灯 ちらちらと
笑み涙 どころこぼれ 甲子園
あかんたれ

短歌
愛子さま 御両親と オランダウ
四つで外へ よき御体験
あついで 食づくりと 洗濯と
あはれゴロテレ 花に水のみ
D 生

みんなで楽しく生きがい学習

トラ連やっさ踊りに舞う



8月12日(土)

開本町内会長を先頭に熟年？56名が年々盛大になるやっさ祭りに出場しました。

西田トラ連会長は今年は、なんと「買」をと張り切っていたのですが、歳をかばうする練習量が、

・。それでも98チーム中18位で、踊った方々は大満足「どうりで女性によく揃っていた」でした。早速、来年の話となり、町内で踊り手を公募して、参加者を増やそう。若者が加せにゃあー買はとれんでし、とか反省と意気込みが飛びかわされました。ひさびさの鷺島パーカーが結集した一夜であり、一度は見てみる価値があります。来年は多くの人が別胎

地蔵祭



7月29日(土)夕方より向田港にある地蔵和霊石地蔵、通称「お地蔵さん」のお祭りが行われました。法要の後、広場では地域住民によるお接待、金魚すくいや焼きそばなどの夜店、自転車などが当たるビンゴゲーム、地蔵踊りなどが行われ、夜遅く迄にぎわいました。和霊石地蔵は七〇〇年以上前に造立されて今日に至り、県の重要文化財にも指定されている貴重な遺産です。多くの人にお参りして頂ける様にと続けられる夜店などは佐木島の夏風物詩として愛されています。これもまた守り続けて行きたいものです。(工)



前夜祭交流(響中グラウンド)

8/26日(土)佐木区主催の前夜祭が17:00~19:30まで楽しく催されました。久しぶりの他地区との交流で年配・同業者でおおいに盛り上がりました。お世話頂いた佐木区の皆様、ありがとうございました。



八月十四日合同慰霊祭

佐木区 十二名、須ノ上区 七名
向田区 六名、ご冥福をお祈り致します。